

NEXT きらめき

☆第1回 全日本高校生ピストル射撃競技選手権大会

☆第61回 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 出場



内子高等学校 ライフル射撃部

畠	岡	慎	一	さん	(2年 大洲北中学校)
星	加	宗次郎		さん	(2年 大洲東中学校)
山	岡	和	奏	さん	(3年 大洲北中学校)
篠	浦	優	奈	さん	(3年 大洲北中学校)
安	川	勝	生	さん	(2年 肱東中学校)
久	保	慶	虎	さん	(2年 長浜中学校)

写真左から () 内は学年と出身中学校

内子高校ライフル射撃部は6月に行われた県大会・四国大会を突破し、今年度初開催のピストル部門には篠浦さん、ライフル部門には山岡さんが個人、男子4人は個人・団体部門とそれぞれが7月25日(火)から広島県で開催された全国大会に挑みました。

ライフル射撃部は現在、20名近くが在籍していますが、篠浦さんと山岡さんが入部した際はまだ部員が少なく、上級生の引退後は個人の練習に加えて二人で後輩の指導もこなす毎日でした。「自分の練習が減ることはマイナスだけど、チームがプラスになればそれでいい」と前キャプテンの篠浦さんが笑えば、「二人に引っ張ってもらって今のチームがある」と新キャプテンの久保さんも笑顔で頷きます。ピストル・ライフル競技は制限時間内に何十発も撃ち続ける集中力が必要とされる競技で、スランプに陥ることも多いそうですが、それを吹き飛ばすような笑い声と笑顔が練習場にあふれているこのチームワークの良さがライフル射撃部の強さの秘訣かもしれません。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.80 大洲高等学校肱川分校

みなさんこんにちは！

大洲高校肱川分校3年の榊上結賢暉です。

肱川分校の家庭クラブ活動は、全校生徒で行っています。折り紙を使った掲示物を作成し、学期に1度、保育所と介護福祉施設へ持って行って交流をしています。また、春と秋には道の駅で交通茶屋を行い、お守りカードと手作りお菓子を配布しています。これからも、家庭クラブ活動を通して、地域の方々と交流し、肱川分校の魅力をたくさんの人たちに知ってもらいたいです！



一次回は大洲農業高等学校からです。ー

初煮会&いもたきマルシェ

秋風とともに大洲の風物詩、いもたきの季節が到来し、9月1日(金)に初煮会が開催されました。今回は会場を肱南ピクニックランドに変更したほか、新しいスタイルのいもたきを提供しようと畳敷きの「TATAMIエリア」、イスとテーブルの「プチキャンプエリア」が設置されました。会場ではステージイベントも催され、とろける口当たりのサトイモに舌鼓を打つ多くの人で賑わいました。



また、9月30日(土)には大洲市青年農業者協議会が企画した「いもたきマルシェ」を開催。昨年度までは「観月会」として夜のみ実施されていましたが、夜のいもたきに参加しづらい子育て世代などの若い人たちにもいもたきを楽しんでもらおうと、昼と夜の2部構成で実施されました。昼はキッチンカーなどのマルシェ、夜はTATAMIエリアとプチキャンプエリアの設置といった大洲の新しいいもたきイベントを、老若男女が楽しんでいました。



TATAMI (畳) エリア (いもたきマルシェ)

プチキャンプエリア (初煮会)



再生可能エネルギーについて考えよう

8月20日(日)、太陽光や風力といった再生可能エネルギーについて考えてもらおうと、「夏休み子ども科学教室」(主催：大洲環境とエネルギー研究会)が国立大洲青少年交流の家で開催されました。教室では太陽光を利用したソーラーカーの工作体験や、バイオマスについて学びながらの昼食づくりなどが行われ、市内外から多くの親子が集まっただけでなく、大洲高校の自然科学部もボランティアとして参加し、賑わいました。



わがまちのヒーローを探そう

まちを支える「ヒーロー」を見つけ出してもらい、取材や発表をとおしてまちの魅力や課題、自分の未来について関心をもってもらおうと「まちづくりヒーロープレゼンコンテスト」(主催：ゆるサポ愛媛)が国立大洲青少年交流の家で8月20日(日)に開催されました。このコンテストには大洲高校からも2チームが参加し、それぞれが肱川の活用や肱南地区のまちづくりを進める人物を紹介するとともに、今後の自分の生き方について感じたことを審査員に伝えていました。



移動式投光器が寄贈されました

9月5日(火)、日本赤十字社愛媛県支部より大洲赤十字奉仕団へ移動式投光器の寄贈があり、贈呈式が大洲市防災センターで行われました。同社では災害時や地域の防災訓練などに活用し、地域の自助・共助の意識を高め、地域防災力の向上を図ってもらおうと、毎年県内の奉仕団に対し、活動用資器材の寄贈を行っています。大洲赤十字奉仕団では多様化する災害に備えるため、寄贈された機材を有効に活用していきたいとのことです。



大洲の梨で被害ナシ！特殊詐欺被害防止をPR

特殊詐欺の被害を防ぎたいと、9月9日(土)に大洲農業高校VYS部と大洲警察署が協力し、市内の商業施設で広報活動を行いました。生徒たちは大洲産のナシと啓発チラシを買い物客に手渡ししながら、架空請求などの特殊詐欺について家族や警察に相談し被害に遭わないよう呼びかけました。大洲警察署管内では架空請求による詐欺が今年8月末までに3件、合わせて1,376万円の被害があったということです。

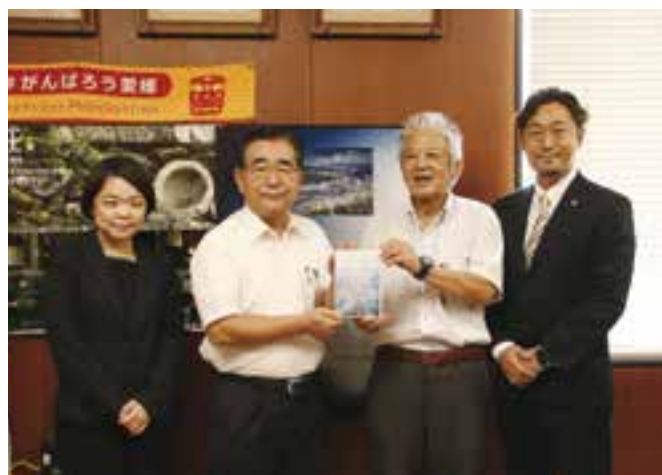
ともに地産地消推進の取り組みを

9月21日(木)、大洲市と愛媛たいき農業協同組合（菊地秀明代表理事組合長）は、地産地消推進に関する連携協定を結びました。愛媛たいき農協とはこれまで食育の一環として学校給食における地産地消の取り組みを強化し、主食用の米は100パーセント、野菜や果物は重量ベースで約70パーセントと地産地消率の高い水準を維持してきました。今後は新たに整備した低温倉庫などの活用による年間供給をはじめ、地産地消をより一層推進する取り組みを行っていきます。



肱川あらしをもっと知ってもらいたい

肱川あらしが発生する時期に毎日発生予報を発信するなどのPR活動を行っている「肱川あらし予報会」のみなさんが、9月21日(木)に市役所を訪れました。2018年から21年の3年間に撮影した動画をまとめたDVDを市長に手渡し、「世界でも珍しい自然現象である肱川あらしを、市と協力して日本三大あらしの一つとして周知していきたい」と話しました。今後は長浜高校などとも連携し、活動を行っていくそうです。



長浜港に大型クルーズ船あらわる

9月22日(金)の早朝、長浜港に国際クルーズ船「ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション」が姿を現しました。同船は全長が124mを超える総トン数12,786tのクルーズ船で、今回は欧米中心の乗客を乗せ、大洲・内子を観光するために寄港しました。港に降り立った100人を超す乗客たちは、観光バスに乗り換えて大洲の町並みなどを楽しみました。その後、豪華客船は次の港である鹿児島県の屋久島を目指して出港しました。



手話言語をブルーライトで輝かせよう

9月23日(土)、「手話言語の国際デー」に合わせて、臥龍山荘のブルーライトアップを行いました。国連や世界ろう連盟のロゴの色でもある「世界平和」を表す青色で世界各地の施設をライトアップするもので、各国の手話言語を尊重し合い、世界中のきこえない・きこえにくい人ときこえる人が一つになることを願って各地で行われました。一夜限りの青く優しい光が臥龍山荘を照らし出し、肱川はその姿を静かに映していました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

【長イモのきんぴら味噌炒め】



作り方

- ① 長イモは、5 cmの長さの拍子切りにする。
- ② 豚肉は、細かく切る。
- ③ ニンジン、ニラは、千切りに、ニラは3 cmの長さに切る。
- ④ フライパンにごま油を入れ、中火で②を炒める。
- ⑤ 豚肉にある程度火が入ったら、ニンジン・ニラの順に炒める。
- ⑥ 野菜が軟らかくなったら、①・Aを加えて、さっと炒める。

材料（4人分）

長イモ		180 g
豚肉		120 g
ニンジン		40 g
ニラ		40 g
ごま油		大さじ1
酒		大さじ1
みりん		大さじ1
鶏がらスープの素	A	小さじ1
みそ		小さじ2
いりごま（白）		小さじ2

長イモの栄養

長イモは淡泊な味わいで、調理方法によって食感の違いを楽しむことができます。消化酵素であるアミラーゼが多く含まれ、消化を助けてくれます。また、カリウムも豊富で、むくみ解消や高血圧予防に効果的です。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和の

第10回

DXのすゝめ



最近、自転車の代わりに電動キックボードに乗る人が増えてきました。このキックボードは、ボードの上に立ってスイッチを押すと電気で走るもので、自転車のように漕ぐ必要がありません。私もたまに利用しますが、操作は簡単で疲れることもないため、とても快適な乗り物だと感じています。

今年7月の法改正により、要件を満たした時速20km以下の電動キックボードであれば、16歳以上は免許不要で乗れるようになりました。

そして、この乗り物の特徴は、利用者のほとんどが自分では保有していないことにあります。代わりに、都内では数十メートル置きにレンタル電動キックボードのポート（小さな駐輪場のような場所）が設置されており、利用者はいつでも好きな場所で借りて、好きな場所へと移動することができます。スマホのアプリから予約して、借りた時間に応じて利用料を自動で支払う仕組みになっており、料金も1時間当たり数百円が相場です。

現代では、個人の移動手段として自動車や自転車はまだ主流ですが、今後、社会のデジタル化が進むことで、さらに便利で快適な乗り物が出てくるかもしれませんね。

文化財

和霊神社のツブラジイ
大洲市指定天然記念物
大有霊神社所有



A樹

新谷小学校の南西に隣接する大有霊神社（和霊神社）は、シイを中心とする社叢（神社の森）が形成されています。社叢にはこのほか、コガノキやアラカシなども混生しており、暖地性常緑樹林の典型ともいえる植生になっています。

この社叢のなかでも、ツブラジイ3本（A～C樹）は特に大きく、最大のA樹は、推定樹齢が約300年に及び、推定樹高は23m、幹周5.6m、枝張り東西22m、南北20mで、県内においては最大級のツブラジイとされます。また、B樹の推定樹高は20m、C樹は22mであり、ツブラジイの巨樹がまとまって生長していることも特筆すべきポイントです。

(平成4年10月27日指定)